

No.	1-①	事業名	景観形成事業
-----	-----	-----	--------

《シンボルロード(鏡ヶ浦通り・北条海岸駐車場)》
 ・8月 「ベゴニア」
 ・12月 「パンジー」



《館山駅西口交通広場等(夕映え通り)》
 ・6月 「サルビア」
 ・9月 「コスモス」
 ・11月 「ポピー」



No.	1-②	事業名	景観形成事業
-----	-----	-----	--------

《フラワーライン美化事業》
 日本の道百選にも選ばれているフラワーラインを3工区に分け、花壇への植栽(菜の花)を実施した。台風災害の影響により、生育が心配されたが、若潮マラソンが行われる1月下旬には見頃を迎えた。

着工前



中間



施肥
耕転
播種



開花



発芽



若潮
マラソン



No.	1-③	事業名	景観形成事業
-----	-----	-----	--------

《北条海岸無料監視所等改修》

平成4年に建設された三軒町無料休憩所及び平成6年に建設された三軒町海岸公衆トイレは老朽化も進んでおり、修繕が必要である。そのため、改修工事を実施した。



休憩所
着工前



休憩所
完成



トイレ
着工前



トイレ
完成



No.	2	事業名	交流拠点施設機能強化事業
-----	---	-----	--------------

《渚の駅たてやま施設機能強化事業》

・さかなクングャラリーの充実を図るため、下記の物品の整備を行った。



楽器展示用什器





さかなクン直筆銘板及び額



マグロのぬいぐるみ



さかなクングャラリーPR用
懸垂幕(博物館入口設置)





No.	3-①②③	事業名	海辺の環境改善事業
<p>《海岸利用者マナー向上対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例」の周知及び禁止行為の指導・勧告。 ・海水浴場のマナー向上のための条例禁止事項の周知チラシ及び館山海・浜ルールブックを作成し、利用者へ配布した。 <p>《海岸美化対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な海岸環境を保つため、通年の海岸清掃に取り組んだ。 <p>《沖ノ島環境保全事業》</p> <p>館山湾の南側に位置する沖ノ島は「サンゴの北限域」と知られており、近年、多くのメディアで紹介されるようになったこともあり、夏季の海水浴場開設期間中は駐車可能台数を超える来訪者があり、進入路入口の手前から渋滞を起している状況である。</p> <p>そのため、本事業により、来場者の利便性向上を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全協力金チラシの作成、配付 ・環境保全協力金の受付業務委託 ・警備業務委託の実施により、交通誘導員を配置し、夏季の繁忙期における混雑の緩和を図り、来場者の安全を確保する ・来訪者の利便性向上のため、駐車区画の整地および駐車柵の設置により、よりスムーズに駐車できる環境を整備 			
			
<p>条例の周知及び指導</p>		<p>沖ノ島環境保全協力金(チラシ配布及び受領)</p>	

No.	4	事業名	城山公園機能強化事業
<p>《花のまちづくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回目となるガーデニングコンテストを開催。当初募集期間を11月末としていたが、9月・10月の台風災害の影響を考慮して1月初旬まで延期し、「春」「夏」「秋」「冬」それぞれの季節の作品を募集したところ、合計83件の応募があり、入賞25作品を決定した。 館山ファミリーパークを会場に表彰式を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ガーデニング教室を5回開催し、合計77名の参加があった。 			
			
<p>第7回たてやまガーデニングコンテスト 個人(一般)部門 ゴールドガーデン賞作品</p>		<p>たてやまガーデニング教室の様子</p>	

No.	5	事業名	航路利用促進事業
<p>《東京～館山航路利用者増加施策》</p> <p>1. 情報提供・観光PR</p> <p>①千葉県観光商談会【令和元年10月25日（金）/東京・錦糸町】 ②都内マスコミセールス【令和元年12月16日（月）】 ③関東ブロック物産観光連絡協議会定例記者会【令和元年12月17日（火）】 ④東海汽船㈱合同マスコミセールス【令和2年1月29日（水）】 ⑤千葉の贈り物～まごころ配達人～【令和2年2月23日（日）放送】 ⑥市広報誌「だん暖たてやま」12/1号掲載や関係機関等へのリーフレットの設置</p> <p>2. プロモーション強化事業</p> <p>①PRツールの作成（2種類） ②定期購読雑誌「ノジュール1月号」（12月末発送）同梱ちらし（関東圏読者18,000冊） ③旅行読売2月号（12/28発行）1P記事掲載 ④旅の手帖2月号（1/10発行）1P広告掲載</p> <p>3. その他 公益社団法人 千葉県観光物産協会が企画した県内発着バスツアー優待プロモーション企画運営業務事業を東海汽船㈱へ紹介し、昼食に「炙り海鮮丼」、利用者のお出迎えにスペシャリティを出すためたてやま・ポートシスターズやダッペエのお出迎えなど着地型バスツアー造成の補助を実施した。 催行本数：13本 利用者：430人</p>			
			 <p>1. 情報提供・観光PR③</p>
			 <p>1. 情報提供・観光PR④</p>
 <p>2. プロモーション強化事業①～④</p>			

No.	6-①	事業名	恋人の聖地事業
<p>《PR費・ビジネス化支援・年間負担金》</p> <p>・地域資源である「恋人の聖地 鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山」を活用し、館山市の新たな魅力の創出や「館山ブランド」確立等につながるような商品開発を行おうとする市内の事業者等に対して、開発費用の一部を補助する『館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金』（平成30年度創設）の募集を行ったが、当該補助金に係る申請が無く、事業実施には至らなかった。</p> <p>※募集期間：令和元年8月2日（金）から8月23日（金）まで</p> <p>《以下は参考》</p> <p>・全国の地方自治体、団体の「恋」「恋愛」をテーマとした地域活性化への取組並びに様々な地域資源との組合せによる取組を募集し、優れた案件を表彰する「第1回『恋人の聖地 地域活性化大賞』」において、館山市の取組が、地方への新しいひとの流れをつくる先進的・特徴的な取組と評価され、最高賞となる「地方創生担当大臣賞」を受賞した。</p> <p>・「シェアしたくなる場所、集めました」をコンセプトに、館山市の若手職員が選んだおすすめを紹介するガイドブック「わたしだけの たてやまぶら散歩」（平成29年度発刊、平成30年度増刷）による館山の新たな魅力の紹介を引き続き行った。</p>			
 <p>第1回『恋人の聖地 地域活性化大賞』授賞式（令和元年6月11日）</p>			 <p>「わたしだけの たてやまぶら散歩」</p>

No.	6-②	事業名	恋人の聖地事業
<p> 《東京湾フェリー活用事業》 ・恋人の聖地スポットである「渚の駅」たてやまにおいて、幻想的なマリンプルー色の光を発するウミホテルに触れる体験をはじめ、各種体験を盛り込んだモニターツアーを実施した。 ・恋人の聖地スポットの“渚の駅”たてやまで人気のウミホテル観察会や太巻寿司作りを、東京湾フェリー金谷ターミナルで体験できるプログラムを造成した。 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="223 403 683 654">  <p data-bbox="242 667 692 694">モニターツアーでのウミホテル観察会の様子</p> </div> <div data-bbox="769 403 1222 654">  <p data-bbox="750 667 1295 694">東京湾フェリーで実際に始めた体験プログラムの様子</p> </div> </div> <p> ・「東京湾フェリーで遊ぶ南房総」というWEBページを作製し、モデルコースの一つとして「恋人の聖地巡り」を紹介した。 https://www.wakuwaku-bousou.com/ </p> <div data-bbox="801 797 1187 1102" style="text-align: center;">  </div>			

No.	7-①	事業名	海辺の賑わい創出事業
<p> 《海まちフェスタ》 ・館山湾を活用した海辺のまちづくりイベント「たてやま海まちフェスタ」を同実行委員会への委託により実施した。 例年と同様に海上自衛隊館山航空基地の実施するヘリコプターフェスティバルと同日開催し、今回自衛隊特務艇「はしだて」の船内見学会や、水上オートバイの乗船体験を行うなど新たな取り組みを増やし、多くの参加者が集まった。 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="236 1406 587 1644">  <p data-bbox="264 1648 558 1675">《「はしだて」船内見学》</p> </div> <div data-bbox="788 1406 1197 1644">  <p data-bbox="865 1648 1120 1675">《シーカヤック体験》</p> </div> </div> <p> “渚の駅”たてやま内では、千葉日报社と共同開催で「トヨタソーシャルフェス!!」を開催。ウミホテルの発光体験や貝殻を使った工作体験などを行った。また自衛隊の活動や高速ジェット船の紹介など、船に親しみを持てるような取り組みを例年実施している。 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="226 1863 647 2101">  <p data-bbox="296 2105 577 2132">《ウミホテル発光体験》</p> </div> <div data-bbox="794 1863 1206 2101">  <p data-bbox="877 2105 1126 2132">《自衛隊活動紹介》</p> </div> </div>			

No.	7-②	事業名	海辺の賑わい創出事業	
<p>《オーシャンフェスタ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：令和元年6月1日（土）／2日（日） ・会 場：北条海岸 ・主 催：OCEAN+FEST TATEYAMA実行委員会 ・主 管：TATEYAMA SURF CLUB ・後 援：館山市・館山市教育委員会・館山市スポーツ協会・日本ライフセービング協会 ・協 賛：(株)エアトリ他31社 ・参加者数：計646名（詳細は下記のとおり） 				
			1,000円/人	29人
		・スタンドアップパドル		
		・サーフスキー	1,000円/人	6人
		・パドルボード	1,000円/人	22人
		・アウトリガーカヌー	3,000円/チーム	75人
		・ビーチ綱引き	1,500円/チーム	33人
		・ライフセービングチャレンジ（ジュニア）	200円/人	109人
		・ライフセービングチャレンジ（ユース）	500円/人	24人
		・ライフセービングチャレンジ（フレッシュマン）	500円/人	27人
		・ライフセービングチャレンジ（マスターズ）	1,000円/人	15人
		・親子ニッパーボード&ランリレー	500円/人	52人
		・エリート	20,000円/人	56人
		・未就学児ビーチフラッグス	無料	15人
		・スタンドアップパドル（体験）	500円/人	59人
		・フラダンス（体験）	100円/人	10人
		・チャリティーTシャツ作成	1,500円/人	15人
		・スポーツ×クレイセラピー	500円/人	40人
		・ニッパーボード（体験）	無料	9人
		・距骨矯正	無料	50人



No.	8	事業名	海を活かした雇用創出事業	
<p>《企業・起業支援》《企業誘致トップセールス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山市企業立地及び雇用の促進に関する条例 →市内に事業所を新設・増設した企業に支援金…① 新設・増設に伴う新規雇用した企業に奨励金…② 				
<p>①立地奨励金</p> <p>新設・増設した分にかかる固定資産税・都市計画税の収納額を限度とし、不均一課税後の額を交付。 交付期間：操業を開始した日の翌年の4月1日から3年間</p>				
<p>②雇用促進奨励金</p> <p>新設・増設した事業所に操業開始日の1年前から操業開始日までに雇用した新規常用雇用者のうち、創業開始日から1年を経過した日に引き続き雇用している場合に奨励金を交付。 交付上限：10万円×200人</p>				
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>対象企業</p> <p>製造業 観光、宿泊業 情報サービス業</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>申請</p> <p>課を通じて市長へ申請 操業開始予定日の30日前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>交付</p> <p>立地奨励金 雇用促進奨励金</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <p>事業継続</p> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>10年以内の廃業 指定の取消 奨励措置の停止 奨励金の返還</p> </div> </div>				

No.	9	事業名	海の魅力による移住定住施策
<p>《移住支援》《空き施設情報管理・移住施策イベント》</p> <p>【第2回移住者交流会】令和元年6月29日 移住してきた人たちのご縁をつなぎ、移住する前に地域とのご縁ができること、そしてもともと館山に住んでいる人が活動に興味を持ち、移住者を受け入れてくれるムードができることを目的として開催。</p> <p>【館山人とのご縁結び】令和元年7月6日 館山への移住を考えている人や興味のある人と、館山出身の人「館山人」のご縁をつなぐ会。館山出身の3名をゲストスピーカーとして参加していただき、第1部では自身の館山での暮らしをトークセッション。第2部ではゲストスピーカーと参加者がいくつかのグループになり、グループ内で各々の現状を共有する。また参加者同士のご縁つなぎも目的の一つ。</p> <p>【ご縁を結ぶ無人島 恋するSUP】令和元年8月24日 現地での移住体感ツアー。近頃人気のマリンスポーツの一つとなっている「スタンドアップパドルボード」通称「SUP」。館山の海の上でそのSUPをしながら独身男女の距離を縮めてカップルになってもらい、最終的には「お嫁さん」「お婿さん」として館山市へ移住してもらおうという目的で実施。館山市在住の独身男女と、今現在安房3市1町以外に在住で、館山市への移住を考えている若しくは興味のある25歳から45歳の独身男女の総勢16名が参加した。</p> <p>【第3回移住してきたひと、元々館山のひと、これから引っ越してくるひとの交流会】令和2年2月15日 令和元年6月29日に開催した第2回移住者交流会に引き続き第3回目。移住してきた人、地元の人、これから移住してくる人、移住を考えている人が交流し情報交換や共有をする場として当該年度2回目の実施。移住する前からその地域に知り合いをつくり、移住定住促進につなげる目的。</p> <p>【館山市移住定住促進助成金】 支給世帯は全部で6世帯（前年度からの継続1世帯、新規申請5世帯。） 当該年度は申込み開始後に申請可能枠が埋まった状況。</p> <p>【館山市UIターンによる起業・就業者創出事業移住支援金】 本市への移住及び定住の促進並びに中小企業等における人手不足の解消のため、埼玉県、東京都及び神奈川県から本市に移住した者が、千葉県地域ごとマッチング支援事業による移住支援金対象法人の求人充足して定着に至った場合又は公益財団法人千葉県産業振興センターから地域課題解決型起業支援事業に係る補助金の交付決定を受けた場合に、予算の範囲内において移住支援金を交付するもの。 当該年度の申請者は0人。（千葉県内申請者0人）</p>			